

Jamboree ジャンボリー

「民医連青年ジャンボリー」とは？

「ジャンボリー」の意味を辞書で引くと「ドンちゃん騒ぎ・ばか騒ぎ」と出てきます。

本音で語り合える仲間をひろげながら、ともに「学び」民医連職員として、成長をはかることができる「場」がジャンボリーなのです!!

同期は、たくさん居るけど部署は「ひとりぼっち」だなぁ



はじまりは…ひとりぼっちの職員をつくらない をスローガンに1972年 山梨県で第一回の大きな交流会を開催!

民医連で働く青年職員が「全国」・「地協」・「県連」で、またそれぞれの事業所で職種・世代を超えて集まり「交流する場」となっています。

ジャンボリーの種類は？

大きく分けて 3つ あります!!

- 全国の青年職員が集まる → 全国ジャンボリー
- 九州地区の青年職員が集まる → 地協ジャンボリー
- 宮崎県の青年職員が集まる → 県連ジャンボリー

WOONDERFUL

「全国」ジャンボリーと「地協」ジャンボリーは毎年交互に行われており「県連」ジャンボリーはそれに向けて病院内で財政活動や周知活動を行ったりしています。

今年の2月に地協ジャンボリーが長崎主幹で行われました。九州地方の民医連職員(青年)が長崎へ集まり平和学習や交流会を行いました。

〈参加者感想〉

初めて会う職員ばかりで同じ医療従事者ではありますが職種も年齢も違う為、最初は緊張していましたが普段職場では話せない仕事の愚痴やプライベートの相談までし合える関係に最後はなっていました♪大人になって原爆資料館など行く機会も中々無いので良い経験になりました!!



NICE!

HAPPY!

健診科のこぼれ話

健診科/飯干 謙太郎

こんにちは。宮崎生協病院で健康診断科(以下健診科)の責任者を務めさせていただいている飯干と申します。健康診断とは全身の健康状態を検査する目的で行われます。また、体の健康状態をある尺度で総合的に確認するプログラムのことを健康診断(健康診査)略して健診と呼びます。

労働安全衛生法などの法律によって実施が義務付けられた「法定健診」(定期健診とも呼ばれる)と個人が任意判断で受ける「任意健診」に分けられます。

簡単に言えば事業所は社員に対して年に1回、健康診断を受けてもらうことが法律で義務づけられていると提供いただければ大丈夫です。

さて、話は変わりますが当院の健診科の職員が意識していることが「自分自身の健康管理」です。

私も一昨年までは不摂生な生活を過ごしていましたが、健診科職員たるもの自分の健康が大事!と一念発起し、2023年1月1日より食事制限、毎日10分の筋トレを始めました。5月からジムにも通い始め、なんと1年間で体重を23キロ、腹囲15センチの減量に成功しました。

自慢話になってしまいましたが、生活指導や食事の話をする際、自分自身の体調管理ができていなければ説得力が低いですね。みなさんも学生のころから自身の健康に対する意識を高くもっていただきたいと思います。



中央材料室の紹介

宮崎生協病院中央材料室です。今回は皆さんがあまり知らないであろう中央材料室について紹介したいと思います。中央材料室、略して中材とよばれる部署ですが、中材では、診療材料、略して診材の管理を主に行っています。院内の診材、例えばシリンジや針、絆創膏、ガーゼなど治療や療養で使用する診材の発注や管理を行っています。また、新しい診材が導入されたり診材の規格が変わったりときには他のスタッフが混乱しないようお知らせしています。



す。診材の管理でもう一つ重要なことがあります。それは、リユース可能な診材の洗浄、消毒、滅菌を行うことです。血液がついたクーバーやベアンの鋼製品はそのままにしておくと錆びついてしまい、使用できなくなります。

←洗浄機
洗浄、消毒、乾燥まで自動でできる。

→オートクレーブ
専用の袋に入れた診材を入れる。最高200℃までの設定ができ、菌を死滅させることが可能。



そのため、適切な方法で洗浄を行っています。また、洗浄だけでは交差感染のリスクがありますので、高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)を行い、滅菌の状態にしています。安心安全に医療活動ができるように縁の下の力持ちで頑張っています。

